

令和5年度 第1回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立和泉支援学校
校長名	野口 淳司

開催日時	令和5年6月7日(水)10:00 ~
開催場所	大阪府立和泉支援学校
出席者(委員)	藤井会長、石田委員、西川委員、永井委員、今村委員、神山委員
出席者(学校)	野口校長、大原教頭、橋本教頭、山本昇首席、東首席・高等部主事 阿部首席・米田中学部主事、山本幸子首席、山本真也小学部主事、梅北教務部長
傍聴者	
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度第1回学校運営協議会 次第</li> <li>・大阪府立和泉支援学校 学校運営協議会 実施要項</li> <li>・令和5年度学校経営計画</li> <li>・授業アンケート</li> <li>・令和5年度使用教科書</li> </ul>

議題等(次第順)

- (1) 大阪府立和泉支援学校 学校運営協議会 実施要項
- (2) 令和5年度学校経営計画
- (3) 授業アンケート
- (4) 令和5年度使用教科書

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 大阪府立和泉支援学校 学校運営協議会 実施要項・・・承認
- (2) 令和5年度学校経営計画・・・承認
- (3) 授業アンケート・・・承認
- (4) 令和5年度使用教科書・・・承認

<意見等>

・チャレンジコースの取り組みが新規となっているが、説明してほしい。  
 →昨年度まで、週2時間の授業時数だったが、十分指導するには時間数が足りないという意見があり、教育課程検討委員会で検討し、令和6年度から週5時間に増やし指導することにしたため今年度は新規の取り組みとしている。

・「医療的ケア等のマニュアルを整備」とあるが、対象者はどのくらいあるのか。  
 →ふだんの学校生活で、看護師が医療的ケアを行う子どもは本校には在籍していない。ただ、泊行事の時に、導尿や喘息の薬液吸入が必要となる場合があるため対応が必要となっている。その場合は府教委に付き添い看護師を申請している。  
 →看護師の派遣依頼については、病院に依頼するが、引き受けてもらえないことがある。看護師の報酬単価が低いことも影響していると思われる。

・病院でなく、看護ステーションとの連携を持つと良いのではないか。  
 ・昨年度の高等部の進路状況について説明してほしい。  
 →昨年度は、高等部3年在籍数は29名だったが、他校進学希望者1名が卒業前に退学し、28名が卒業した。うち3名の就職希望者がいたが、1名は会社から断わりがあり、2名が就職した。1名は、病院の食事の配食作業、1名は特例子会社に就職した。他の生徒は福祉事業所へ進路決定した。ほとんどが就労継続支援B型の利用となった。

・中学部3年生の進路状況についても説明してほしい。  
 →昨年度は27名卒業し、うち23名が本校高等部へ進学、1名が高等支援学校、1名が高等学校共生推進教室、1名が通信制の私立高等学校、1名は進学せず在宅となっている。

・教科書は昨年と変わってないのか。  
 →各学年シラバスに基づいて選定している。基本的には変わっていないが、絶版になった本もあるため、その場合は変更している。

次回の会議日程

日時	令和5年11月16日(木)
会場	府立和泉支援学校